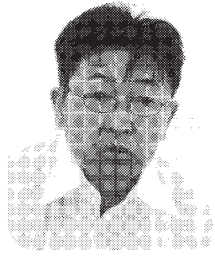


問 漆器や曲げ物を、伝統工芸として根づかせていくには何が必要かなど課題も多い。支援策が必要だろうか。また担い手の育成も必要。上松技術専門校の卒業生などを応援していく行政の姿勢も重要だがどうか。町長 技術の継承は大事な課題。伝統産業の復活をしていただけるよう、側面的な応援をしたい。



松井 淳一 議員

**行政評価システム
事業について**

問 19年度予算においては新規、拡充事業が17事業あるが、縮小・廃止事業はほとんどない。このままでは木曾町の予算規模は大きくなるいっぽうである。事業

評価をしつかりとおこない、事業効果を把握し、必要な事業か否かを考えていく必要がある。行政評価は行財政改革に役立つ一方法だが、18年度より繰り越された行政評価システム構築事業の進捗状況をお聞きしたい。

総務課長 3月末に支援業者を決定、今年度中のシステム立上げを決定した。現在庁内プロジェクトを立上げ、事業の棚卸作業（6月末）をおこなっている。その後評価事業を抽出し、評価シートの作成、書き込みをおこなっていく。

問 行政のおこなっている事業についてはどれだけ効果（住民の満足度の増加等）があったかをつかむ事が重要になる。交通システムの事業でおこなわれている効果の把握がいい例だ。アウトカム（効果、成果）が重要であるという意識を職員



が共有するために、これからのように仕事をすすめていくのか。

総務課長 行政事業を整理すると約930事業がある。しかし評価は不十分な状況だ。「最小予算で、最大の効果を」が理想となり住民の満足度を知ることが重要になる。システムの導入で意識改革が進行していくと思われる。予算があるからやるではなく、システムを早く立上げ、活用し、事業が進められるようにしていきたい。

**町有施設の安全管理
体制とチェック機能
について**



浦沢 昌徳 議員

問 町有3スキー場の安全管理体制と町のチェック機能はあるか。

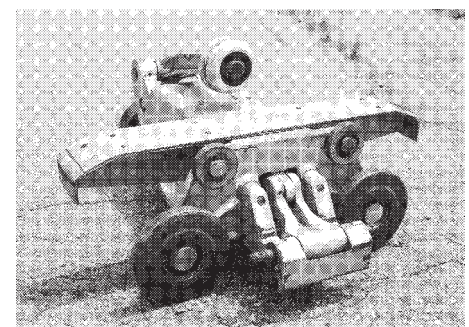
観光商工課長 各スキー場は鉄道事業法に基づく安全管理規程や、メーカーの整備基準に従い計画的に整備・交換をおこなっている。

問 予算面の把握は。

観光商工課長 町から指定管理者への資金供与はないが、協定書に基づいて事業計画、並びに報告の中で把握をしている。予算的には大変厳しいと聞いている。

問 危機管理として町や3スキー場が連携して対応するような体制は。

町長 予算措置がないので、



圧 索 機

町が安全管理の中心となることは難しい。

企画調整課長 道義的責任においても町も関わるものである。部品等については共用も可能である。

問 住民のライフラインとして、水道についての計画的改修、安全な供給のためのチェック体制は。

上下水道課長 計画的改修は木曾町総合計画の5カ年計画にも盛り込んでいます。施設の管理体制としては、報告に基づきチェックをおこない順次改修するもの、老朽管のように年数により計画的に改修をおこなうも